

講義日程・時間

8月22日 木曜日

6時間

1. 授業科目名	【選択】『共生社会実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育』の現状と課題(基礎)		
2. 担当教員名	二見 妙子		
3. 授業の概要	障害学を基盤にした教育学、社会福祉学などの知見を手掛かりに、インクルーシブ教育に関する理論と実践について多角的な検討と探求を行います。基礎編では、インクルーシブ教育を求めてきた国内外の歴史とその理念が、私たちに問いかける課題を把握します。		
4. 到達目標	①日本における障害児教育制度の変遷を理解する。 ②イタリアにおける障害児教育の制度的変遷を理解する。 ③障害児教育の基盤となる障害概念の変化を理解する。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	障害児教育のパラダイム転換「分離から共生へ」(日本の教育制度に着目して)	講義と意見交換、小テスト
	2	インクルーシブな教育を求めてきた人々の歴史(日本の場合)	講義と意見交換、小テスト
	3	障害児教育のパラダイム転換「分離から共生へ」(イタリアの場合)	講義と意見交換、小テスト
	4	障害概念の変化	講義と意見交換、小テスト
6. テキスト・参考文献等	①堀正嗣(1997)『障害児教育のパラダイム転換』明石書店 (当日資料配布)。 ②嶺井正也(2009)「イタリアにおける包摂共生教育制度の成立と展開に関する試論」人文科学年報(39), 163-185, 2009専修大学人文科学研究所 (当日資料配布)。 ③二見妙子(2017)『インクルーシブ教育の源流』現代書館 (当日資料配布)。		
7. 成績、評価方法・基準	講義内容ごとに小テストを行います。		
8・特記事項	受講者のみなさんに、経験や考えを交換していただきながら授業を発展させたいと考えています。		

講義日程・時間

8月23日 金曜日

6時間

1. 授業科目名	【選択】『共生社会実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育』の現状と課題(実践)		
2. 担当教員名	二見 妙子		
3. 授業の概要	<p>障害学を基盤にした教育学、社会福祉学などの知見を手掛かりに、インクルーシブ教育に関する理論と実践について、多角的な検討と探求を行います。</p> <p>実践編では、まず、参加者のみなさんの意見交換から「共生社会の実現をめざす特別支援教育」の現状と課題を把握します。その後、いくつかの先進事例を紹介し、実践場面において、さまざまな子どもたちが共に育ち合うことを保障するための視点と具体的な方法を探求したいと考えます。</p>		
4. 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会実現に向けた特別支援教育の現状と課題を把握する。 		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	共生社会の実現に向けた特別支援教育の実際	意見交換、小テスト
	2	impairmentの全体像を知ること。 子どもの育ちを見ること。	グループワーク、小テスト
	3	先進的な実践事例の紹介	ビデオ視聴、小テスト
	4	日々の実践の質を高めるために —ドキュメンテーションの活用—	演習、小テスト
6. テキスト・参考文献等	<p>・武庄隆志・北村佳那子編(2006)『かなこちゃんの暮らし』明石出版。 ・伊藤伸二(2008)『どもる君へいま伝えたいこと』解放出版。 ・平本歩(2017)『バクバク子の在宅記』現代書館。現代書館。 ・星川ひろこ(1999)『となりのしげちゃん』(小学館)など(当日貸し出します)</p>		
7. 成績、評価方法・基準	授業内容ごとに小テストを行います。		
8・特記事項	受講者のみなさんに、経験や考えを交換していただきながら、授業を発展させたいと考えています。		